

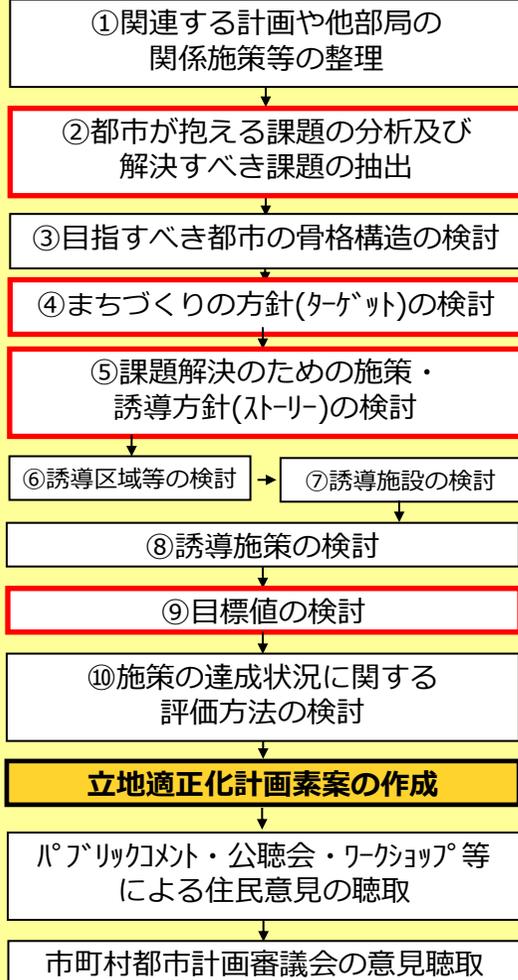
(富山県)魚津市の立地適正化計画(案)「課題～ターゲット～施策～目標・効果」

基礎
データ

○作成年度：【都市機能誘導区域】 令和2年(予定)	【居住誘導区域】 令和2年(予定)	
○人 口：42,935人	【都市計画区域内】 40,439人	【用途地域内】 13,370人
○面 積：200.61km ²	【都市計画区域内】 4,440.0ha	【用途地域内】 438.1ha
○人口密度：214.0人/km ²	【都市計画区域内】 9.1人/ha	【用途地域内】 30.5人/ha
		【白地地域内】 27,069人
		【白地地域内】 4,001.9ha
		【白地地域内】 6.8人/ha

(人口はH27国勢調査時点)

立地適正化計画の検討の進め方



電鉄魚津駅周辺を含む旧市街地の人口減少が著しく、市全体の人口密度が薄く拡散

駅周辺市街地での空家による都市のスポンジ化と郊外開発によりスプロール化が進行

中心市街地での賑わい不足とまちなかの魅力低下により商業が衰退

自動車への依存度が高く、公共交通機関の利用者数が減少し、運営維持に支障

中心市街地を活性化し、生活・交通の利便性を高く確保し、未来を担う若者たちにつなげる魅力的なまちづくり

施策①【賑わいのある魅力的な中心市街地の形成】

・魚津駅・新魚津駅、電鉄魚津駅周辺において、賑わいのある魅力的なまちづくりを展開

魚津駅・新魚津駅
周辺コアゾーン
駅前とまちなかの賑わい創出を
目指したコミュニティの充実化

電鉄魚津駅
周辺コアゾーン
商店街のポテンシャルを活かした
元気なまちなか再生化

懸け橋ゾーン
点から線へつなぐ回遊性の
創出

施策②【日常生活に必要な機能が整った利便性の高い居住環境】

- ・住宅取得者等への財政、金融的支援
- ・空地、空家対策の推進・移住、定住の推進
- ・子ども、子育て支援の推進・防災対策の強化

施策③【利便性の高い公共交通ネットワークの形成】

- ・基幹的な公共交通路線の維持、確保
- ・コアゾーンを結ぶ既存バスルート等の再編

目
標

- 都市機能誘導区域内の新規創業者数 20件/年 → 400件(20年間維持)
- 魚津駅・新魚津駅周辺の公共空間を活用したまちづくり活動回数 5回/年 → 10回/年
- 居住誘導区域内の人口密度 34人/ha → 34人/ha(維持)
- 居住誘導区域内の空家率 8% → 8%(維持)
- 市内バス利用者数 177,000人 → 150,000人(1人当たり利用回数を維持)

効
果

- 居住誘導区域内の小売業の年間販売額の維持(290億円)
- 居住誘導区域内の公示地価の維持(住居39,700円/㎡ 商業65,800円/㎡)
- 市民アンケートによる「魚津市の住みやすさ」の向上(70% → 75%)

(富山県)魚津市の立地適正化計画(案)「目指すべき都市の骨格構造～誘導区域の設定」

目指すべき都市の骨格構造

まちづくりの方針を見据えながら、市内の5つの鉄道駅を中心としたまちづくりを進めます。とりわけ、魚津駅(あいの風とやま鉄道)、新魚津駅(富山地方鉄道)を中心とするエリアと、電鉄魚津駅(富山地方鉄道)を中心とするエリアを都市づくりの核(中心拠点)とすることによって、コンパクトな都市構造とし、中心拠点を中心に基幹的な公共交通軸を形成し、市内の各地域拠点を鉄道とバスでつなぐネットワークを構築・維持することによって、持続可能で活力のある都市を目指します。

立地適正化計画の検討の進め方

